



2018.6.24 信者全体集会

『出会い』

サンティアゴ・ディンド

二〇一八年もあつという間に半年が過ぎ、暑い夏を迎える。最近、わたくしは南山教会でささげる主日ミサが少なくなり、水曜日の勉強会も毎週から月二回とさせていだき大変申し訳なく思っている。それは、宣教事務局の仕事をはじめ、神言会日本管区から与えられる仕事によって出張が多くなり、名古屋にいない時も増加。したがって、「お久しぶりです」「ご無沙汰しています」と南山教会のみなさんにご挨拶することも増えた。こうして巻頭言を書かせていただけることは、みなさんに伝えることができる貴重な機会であり、主任司祭新立神父に感謝。今回は、人間と神さまとの出会いについて述べたいと思う。

人生は、旅路であるとしてよく譬えられる。その中で多くの出会いと別れ、そして、再会と再びの別れもある。わたくしは、色々な小教区や共同体を訪れて、多くの方に出会い、別れ、再会と再びの別れを体験してきた。時には二度と会うことができない方もいる。みなさんもきっと同じ体験をされたことがあるのでは。こう考えると頭に思い浮かぶのは、『崇徳院』である。

「瀬をはやみ岩にせかるる滝川の われても末に逢はむとぞ思ふ」

『崇徳院』という古典落語は、二〇一七年度下半期放送の朝ドラ「わろてんか」から知り、その内容が、わたくしたちの人生・信仰の旅路に置き換えることができるのではないかと思った。この歌の意味は、「川瀬の流れが速いので、岩にせき止められる急流が二つに分かれても、のちには再び出会うように、あなたと今は別れても、いつかはきっと一緒になろうと思うことだ」と。

恋愛で使われる歌であるが、人との出会いだけではなく、神さまとの関係にも置き換えられる。洗礼によって主と一つに結ばれ、生き生きとした信仰をもつわたしたちが、何かの出来事によって神さまに背を向けてしま

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

い、別れるようなことがあっても、必ず後に回心し、神さまとまた結ばれるという大切なメッセージ。

忙しさを理由に神さまとの関係をほったらかした自分が反省させられる。仕事の多いときに、心を失い、特に大切な出会いを忘れて「マルチタスク」するのは。「マルチタスク」とは、コンピュータにおいて複数のタスク（プロセス）を切り替えて実行できるシステムのことである。例えば、夫であり、父であり、子でもあり、会社員、教会の一員、国民でもある人は、どのように切り替えて、すべての役割を実行することができるか大きな課題であろう。いつもうまくいくとは限らない。場合によって、どれかを優先し、どれかを犠牲にする。しかし、やはり信仰を持つわたくしたちには、神と結ばれることが最優先であることに気づく。

やはり、多くの方との出会い、神さまとの出会いは、偶然ではなく必然であり、心に深く留めて大切にしていきたい。「一期一会」という言葉の重みを感じ、今、その出会いとお互いの善なるものを分かち合える機会に感謝。

神に感謝。

2018年度 信者全体集会

6月24日
11時～13時 マリア館2階ホール

はじめの祈り

(新立師)

主任司祭あいさつ

(新立師)

・南山教会より守山教会へ、第4日曜日に神父を派遣する。

・新立神父様も第3日曜日に大阪の教会へ中国語ミサを捧げに行かれています(楊神父様の後任)

・現在の信徒数は2,197人。

・現在の信徒数は2,197人。日曜日の9時半ミサだけではなく、他の時間帯にもミサがあり、色々な考え方を持った方々がいらっしやいます。今後も一緒に頑張ってご協力をよろしく願います。

運営委員長あいさつ

(泉運営委員長)

・全体集会は13回目を迎えました。

・財政に関わる状況は昨年から大きく変わろうとしています。松浦司教様のご意向による小教区司祭への支給制度や、南山教会の大規模補修など、予算としては厳しくなりますが、何とか乗り越えられる見込みです。

ヨセフ会活動報告

(森ヨセフ会会長)

・ミサの案内係などを受け持つております。興味のある方は是非お声掛け下さい。

マリア会 (亀井マリア会会長)

・個人の負担をなるべく軽くしつつ、主の喜びを意識していきま

す。

広報委員会 (松田広報委員長)

・ミニバチカン展が長崎で行われます。

財務委員会

(伊藤(恭)財務委員長)

・2017年度は約2,000万円の黒字となりました。複式簿記による貸借対照表も作成しております、使途不明金は一切ございませんのでご安心下さい。課題としては、黒字の大部分を納骨堂の収入に依存している状況であり、財務の安定には、維持献金ミサ献金の増加が不可欠だと考えます。

典礼委員会 (新内典礼委員長)

・主任司祭が新立師に交代して、1年ほどが過ぎ南山教会の様子がご理解いただけたものと存じます。お気づきの点も多々あるうと存じます、相談しながら少しずつ修正して行ければと思います。スムーズに調整して行けるよう今後

とも、お祈りと奉仕をお願いいたします。

営繕委員会

(伊藤(雅)営繕委員長)

・教会の建物、備品のメンテナンスの実施。
・大規模補修の実施に向けて進めております。

納骨堂管理委員会

(神戸納骨堂管理委員長)

・安定的に収入を増やすために、納骨堂を増やさなければいけないかも知れないです。
・納骨堂は建設に約1億円かかりましたが、その分の返納は完了しています。
・今後も皆様に意識して納骨堂入居への勧誘を頂きますようお願いいたします。

オルガン管理委員会

(水谷オルガン管理委員長)

・昨年度活動報告は冊子6頁をご覧ください。
・本年度も、パイプオルガンの定期点検、老朽化した部品の交換を進めます。
・パイプオルガンに興味を持って頂けるよう、「パイプオルガンに触れる会」も行っていく予定です。

宣教師牧評議会・信徒使徒職協
会より
(松田信徒協委員)

・宣教師牧評議会…これまでと同
じく、城東ブロック全体で行う行
事などのお手伝いです。

・信徒使徒職協議会…小教区内の
小さなグループ、大きなグルー
プで行われる信仰を広める活動を拾
い集めて中央に取次ぎ、議論され
たものをまた広げる活動をしま
す。

今年度教会バザーの準備状況につ
いて (成井バザー実行委員長)
・5ページ「バザー委員会だ
よ
り」をご参照ください。
上記以外の団体の活動

・典礼奉仕者会、子供部屋、教会
学校、中高生会、青年会、レジ
オ・マリエ、大樹の会、英語のミ
サグループ、手話の会、要約筆記
者の会、四木会の各会よりご報告
頂きましたが、詳細につきまして
は全体集会で配布されました資料
をご参照ください。

大規模補修プロジェクトチームに
よる大聖堂天井補修・マリア館改
修について

・「人の命を守る」ことを大前提
としたプロジェクトの、進捗を含
めた内容が説明されました。

・大聖堂の改修は約1,000万
円で、マリア館の中も改修し信徒
会館は取り壊します。

・9月の運営委員会で最終的な改
修の承認を得た上で、大聖堂は11
月までに改修完了、マリア館は10
月のバザー後に改修予定です。

大規模補修についての質疑応答

Q…信徒会館を取り壊して駐車場
を作る場合、何台分作る予定で
しょうか?

A…27台分増えます。現状は聖堂
横に詰めて停めている台数が10に
満たないと思われるので、27台
分確保できれば良いかと思いま
す。

Q…中庭が駐車場になることで、
子供達に対して危険にならないで
しょうか?子供たちは遊びを通し
て成長していく部分があるので、中
庭は無くしてほしくない。

A…信徒会館が無くなると道路が
すぐ近くになってしまい、それも
それで危険。今後の進め方で変更
は出てくると思いますので、進め
ながら考えていきたいと思いま
す。

ご意見…

・このプロジェクトには女性の影
響が何もない。もっと女性が関わ

るべき。

・人よりも車の事で考えないでほ
しい。今、明日の教会、若者の為
の教会について考えてほしい。

・南山教会が淋しい教会にならな
い事を検討してほしい。

・人が集まる場所である教会を重
視してほしい。車は後回しにして
信徒会館の早期建て替えを希望し
ます。

新立神父様…

・色々な勉強会などはマリア館に
移行されていますので、人が集ま
らなくなったわけではありませ
ん。

ご意見…

・マリア館の集会室が全て事務所
になるレイアウトはいかがかと思
います。小部屋は必要です。

新立神父様…

・計画上、神父との会話などのプ
ライバシーを確保することを大前
提でプランを考えています。

且つ、コストとのバランスも考え
ての上です。大きく変更してし
まった後で、今後また変更が出て
くれば、またコストが発生してし
まう。この連鎖は避けたい。

新立神父様のまとめ…

・皆様から集められた大切なお金

を大規模修繕に充てるにあたり、
各自が持っている意見は違うかも
しませんが、その違いを大事に
しながらひとつの方向を向いてい
ければと考えています。

これからご協力をよろしくお
願いします。

その他…

・小聖堂のクーラー設備を今年の
夏前までに大住建築士のご協力の
もと改善していく予定です。

全体の質疑応答



典礼奉仕者全体集会

(6月10日11時頃～12時頃)

大聖堂、参加者40名程)

はじめに典礼委員長から日頃の奉仕への感謝の気持ちが出され、お互いに声を掛け合つてご奉仕してくださいといったお話がありました。さらに主任司祭からはミサにおける心構えとして、

①神への感謝だけでなく、神への賛美もあります。神から与えていただいているものの素晴らしさのうちに、神を賛美しましょう。

②ミサ奉仕は信仰告白です。それぞれの在り方歩みの中で信仰を育み、信仰を現わしていきましょう。

③ミサ奉仕は神へのみではなく、共に座っている人、一緒にいる人に対する奉仕の側面もあります。神の愛を伝える努力や促しは聖霊によるものです。といったお話と奉仕者の皆様への感謝の意を表されました。その後、典礼奉仕者の手引きの確認、典礼委員の紹介、今まで典礼委員会へ寄せられていた質問とその回答、実践的なことの確

認を行いました。

※ご意見、ご質問

(1)進行係の方から、司式司祭によつて信仰宣言の案内を言われたり、言われなかったりで、『信条』の冊子、16ページ。

『使徒信条(2)』を歌います。『』のアナウンスに戸惑います。

↓使徒信条(2)を歌うことが定着してきているので、司式司祭に信仰宣言に招く言葉をいただき、進行係によるアナウンスは省く。オルガニストによつて始められます。今後、新しい信条の旋律を導入の際はアナウンスすることを再び考えていきます。

(2)先唱奉仕者から、復活の続唱、聖霊の続唱がある場合は、第二朗読後の30秒の沈黙カウントは、進行係が行うことになっているが、アナウンスされないことがあり困りました。↓特別な場合はミサ前の打ち合わせにおいて奉仕者同士でしっかり確認を行なってください。(3)聖歌隊の方から、共同祈願の意向後の応唱を歌うようにしていったらどうかと要望があった。

←今後の典礼委員会で検討していきます。

※実践的なことの確認

(4)ロウソクの火を灯す順番、消す順番についての確認。

まず、中央で御聖櫃に向かつてお辞儀をし、点火は中央から右に、中央に戻り、お辞儀をして左に点火。消火は真逆で行います。(侍者と同じやり方での説明。必ずしもこの順番でということではありません。参考にしてください。)

(5)朗読奉仕者、先唱奉仕者が3、4人で奉仕する場合は、内陣に上がる時と降りる時、二人でペアになって二列で移動します。

(6)答唱詩編の最後の詩編句を歌い終わったら先唱奉仕者は一歩下がり、朗読奉仕者は第二朗読に向かう準備をすることの確認。

(7)補聴器、イヤホンの置場所の確認と返却があったイヤホンは充電をすることを確認。

大聖堂で行い、実践的なことを確認することができたので良い集いとなりました。ご参加の皆様ありがとうございました。

(典礼奉仕者の会 伊澤美由紀)

典礼一口メモ 香部屋の窓から
第10回 ローカルルールの話

典礼委員長 新内飛鳥

以前、典礼総則についてお伝えした事があります。カトリック教会に身を置く私達にはその礼拝行為の基準としての典礼総則があるわけですが、もう一つ彫り上げると信者として「教会法」を持っています。教会法は教会全体の秩序が保たれるように定められています。「キリストによつてもたらされるゆるしと平和、そして愛に生きる」とことが求められますし、私たち自身もその癒しに生かされますから、神秘的な力の方に目を向けがちです。ですから現実的な法律の存在を意識すると何だか興ざめに感じてしまうかもしれないが、地上の神の国は必要な場合、法によつて保たれている面もあります。世界に広がる教会は一つの教え、一つの法で一致するのです。一致とはしかし全く同一ということではなく教会は国や地域の文化の違いによる、ある程度の独自性を認めています。そのことは典礼に関しても総則に明記してあります。

ところがここが実は思案のしどころでもあるのですが、認められる裁量と譲れない秩序があるのです。その見極めを見誤ると知らず知らずの内に私たちは共同体ぐるみで違反行為に走ってしまうのです。少々大げさな物言いですが、心で騒がせてしまっているかも知れませんが、関心を持って考えを深めるとことほど左様に重大な事柄でもあるのです。私たち南山教会の共同体ばかりではないと思いますが、典礼暦年に関して自分たちの都合で整合性を無視してしまったり、季節を無視した祈りをささげてしまったり等です。私たちに身近な話をすれば保護の聖人の記念です。聖堂にはそれぞれ保護の聖人が定められています。南山教会の場合、(聖人とは呼べませんが)聖十字架にささげられています。そのため9月14日の聖十字架の記念日を大切にしていきます。しかし当日が平日に当たるとも多く近い日曜日にミサを記念する習慣が根付いています。気にしなければ気にならないこともありませんが、その日曜日にも当日の主日ミサが祝われなければならないので

す。そのミサはどこへ行ってしまうのか? と言うようなことになる訳です。また、四旬節の入り口に当たる灰の水曜日ですが、やはり当日に教会に来ることが出来ない人への配慮として次の日曜日すなわち四旬節第一の主日のミサ後に灰を受けられる様にして来ましたが、本来、灰の水曜日を以て四旬節に入りますから四旬節第一主日のミサを祝ってから灰を受けるというのは、サラダを食べる前から菜を食べるようなものです。あるいは手術が始まってメスを入れてから麻酔を打つようなものです。教会は伝統と教義に基づいて朗読の配分や準秘跡などを定めていますから、その流れは守られることが勧められます。諸々の点でズレが生じているのも現状です。典礼委員会では新立師に判断を仰ぎながら、この点を少しづつ修正してあるべき姿に近づけて行くように取り組みますからご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

バザー委員会だより

今月からバザー終了まで月報にこのコーナーを作って頂くことになりました。バザー終了まで、バザー委員会が決まった事、皆さんにお願いする事等、掲載していきます。

2018年度バザー委員会紹介

・委員長 成井

(ヨセフ会 7班)

・副委員長 安井

(ヨセフ会 8班)

・会計 伊藤

(財務委員長)

・司祭団 新立師

(主任司祭)

・司祭団 アルバート師

(助任司祭)

・委員 泉

(運営委員長)

森

(ヨセフ会会長)

倉井

(ヨセフ会副会長)

亀井

(マリア会会長)

成井

(マリア会副会長)

戸野部

(ヨセフ会 7班)

櫻井

(ヨセフ会 8班)

William Naoki Kumai

(英語ミサ)

松浦 (青年会)

酒井

(前年度実行委員長)

バザーのテーマが決まりました。

「愛と希望といつくしみのうちに集まりつながらう
く世代を超えて仲間とともに笑
顔・喜び・楽しみのバザーに
く」

出店募集について

・出店募集を始めました。出店したい方は教会事務所に用紙がありますので、所定の記入をした上で、お申し込みください。
・最終的な出店の決定は、9月の運営委員会で決まります。
バザーに関して、「ご意見」「ご希望」がありましたら、バザー委員が事務所にお申し出ください。

第4回運営委員会

司祭団より

7月1日

・信者全体集会を無事に終える事ができました。ありがとうございます。これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

・夏季の黙想会への参加や休暇等のため、司祭がいけない日が出てくるかと思いますが、教会行事に支障がないように調整はしていきますのでよろしくお願い致します。

報告・連絡事項

6月10日 典礼奉仕者全体集会

・7月月報で別途記載していますので、そちらをご確認ください。

6月17日一粒会のつどい

・緑区の緑ヶ丘教会で一粒会の東海ブロック集いが行われました。

・長浦教会の飯野神父様(神言会)の講話のあと、松浦司教様の司式にてミサが行われました。

6月23日信徒協委員総会

・布池文化センターにて開催され、70名程が参加していました。
・司教様のお話の後、議会が行な

われ、昨年の議事録で臨時総会をするはずがされなかったので、活動もなく予算も使用されませんで資料に沿って説明されました。

営繕委員会より

・今年には議事録を皆様の教会に展開することで採決されました。

・規約の改正が行われ、役員の任

期は2年となりました。

・大聖堂足場設置完了しました。

6月23日 レジオマリエ 黙想会

・参加者30名でマリア様の生涯を黙想しました。それぞれ自分の沈黙の時間を持ち黙想しました。

6月30日 オルガン管理委員会

審議・相談事項

・昨年度のオルガン管理決算報告

と今年度予算計画を確認しまし

た。例年梅雨時期にパイプオルガンの不調が見られ、今年度は7月と11月に1日点検を予定していま

す。又、オルガン関連の部品は毎

年買い足していきます。

・天井工事にあたり、パイプオル

ガン点検調律作業に支障の無いよう、営繕及び担当業者とその都度

打ち合わせを行う事としました。

・マリア館ホールの電子オルガン

については、老朽化で不具合もあるが使用頻度も低く、部品も無い

8月26日 避難訓練について
・今迄のやり方での改善必要点を再考してみる。

・昨年の避難訓練の議事録を確認して今年に反映していきます。

・頭に落ちてくるものを防ぐ用具(ヘルメットや防空頭巾など)を用意してはどうかという意見がありました。

平和旬間、聖母被昇天祭について

・8月6日(広島原爆の日)は、朝7時のミサに続いて原爆投下の時間まで聖体礼拝を行います。9日(長崎原爆の日)は、10時から

原爆投下の時間まで聖体礼拝を行います。

・聖母被昇天のミサは、8月14日(火)の19時、および15日(水)

10時から行います。15日(水)の19時からのミサはありません。また8月12日(日)例年通り聖母の被昇天祭を行い、ルルドの前でロザリオを唱える予定です。

9月16日 敬老祝賀会

・例年通りの内容で開催を予定しています。8月下旬に出欠確認のはがきを出し敬老会参加の締め切

りは1週間前となります。

・出し物につきましては小出様に今年もご出席いただき、南山小学校のお琴演奏も予定されています。教会学校、中高生会・青年会も参加いただける予定です。

大規模補修プロジェクト、営繕委員会より

信者全体集会での説明のまとめと要望事項の相談（大聖堂スロープ手摺、聖堂周辺照明について）

・7月4日に第2回説明会を大聖堂にて開催致します。

・先日の信徒全体集会で、大規模補修プロジェクトに女性参画すべきではないかとの提案がありました。議論の結果、大規模補修プロジェクトは、専門的見地からハード的な議論、提案を行い、その経過、結果を今まで通り、女性も多数参加する運営委員会で議論すれば問題ないとの結論に達しました。一方、マリア館の詳細レイアウト等は、教会運営などソフト面の話を中心となるため、新立主任司祭、大住一級建築士、マリア会、ヨセフ会の代表からなるチームを別途結成することとなりました。

・現在、大規模補修プロジェクト

は運営やソフト面に話移つてきているので、ヨセフ会とマリア会にも参画頂き女性の意見を聞いていきたいと思っています。

6月24日の信者全体集会のまとめと今後の教会の方向性の確認

・参加者は102名で、大規模補修など教会に対しての関心の大きさが伺えました。

ワールドユースデー(WYD)パナマ大会について

・南山教会信徒の参加希望者への費用援助の相談がありました。

・参加費が28万円で教区より7万円の補助が出ます。小教区からの支援として、一人当たり最大半額までを、司祭団が援助します。

11月23日・24日日本カトリック正義と平和全国集会について

南山教会が11月24の分科会会場です。その取り組みについて情報共有と対応について検討します。

クリスマスミサの案内係・駐車場の担当について

・20時の降誕祭ミサの駐車場係について、特別なミサなので出たいという声がありました。

・駐車場係やミサの案内係について、専門業者や青年会に依頼するなどの案が出ました。これから業者の費用など調査していきます。

その他

・例年9月、主日のミサに替えて行っている十字架称賛のミサに關して、司教様と協議した結果、普遍教会の交わりの喜びを大切にす

る観点から、今後は行いません。

・教会の坂道への駐車はなるべく詰めて停めてほしいというご意見がありました。

各会報告

・5月11日 元愛知医科大学医学部公衆衛生学講師 柳生清子様に「食品衛生について」という題で

マリア会の後に講演をしていただきました。

典礼委員会

・6月10日…典礼奉仕者全体集会及び典礼委員会

・7月8日…典礼委員会

・8月6日(月)…平和の祈り

7時のミサ後聖体賛美式(小聖堂にて)

・8月9日(木)…平和の祈り

10時聖体礼拝

・8月12日(日)…9時半ミサの前に聖母被昇天祭(ルルドのマリア様前でロザリオ聖母行列)

聖母被昇天の祝い方として、前

晩(14日19時)、当日(15日10時)にミサを捧げます。

要約筆記者の会

・7月19日(木) 10時から集会室

2で要約筆記の勉強会を行います。聞こえの問題で、ミサ・学習会等への参加をためらう事の無いようにと願い活動しています。パソコン入力がお出来るようになる方のご

協力をお待ちしております。ぜひ勉強会にご参加ください。

大樹の会

・昔は信徒会館の2階はホール型の広間であった。そこで現在の会議室は間仕切りの壁を設定し、

ブロックを2メートルか3メートルの高さで積み上げてあります。

地震にご注意ください。教会学校は危険です。1階の2つの司祭室も同様の建築様式です。

次回9月2日

南山句会

平成三十年六月十七日



旅の日の会席膳や梅雨に入る
幼子のちよこんと正座夏の風

眞喜子

折り紙の蛙目を剥く部屋かざり
更衣子よりブラウス弥撒の鐘

とく子

天空を染める紫陽花今日は晴れ
木立抜け空と岩山夏登山

一藤

老犬の眠るばかりや梅雨寒し
修行僧如き走りや新樹光

豊子

短夜や幼子腕に添寝せむ
初夏の風泣いてバス追ふ別れの子

令子

走り梅雨過ぎし夜明けの湿り風

泰信

痛む足かばひて弥撒へ梅雨晴間
夏座布団明るく生きよと亡父の声

美智子

五月雨やロザリオ一環マリア祭
炎天下制作みつむアート祭

惇子

白百合の折る修女に似合ひけり
夏の午後子らとひとときチェロの音に

せつ子

毎月第三日曜日九時半ミサ後
マリア館一階集會室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

使徒ヨハネ 平尾 周三
使徒トマス 坂 益夫

大規模修繕積立金残高

6月末現在 4,449,696円

転入

ようこそ

マリア 近藤 敬子 (平針教会)

教会維持費

6月は1,121,639円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願いします。

帰天

神の栄光にあずかれますように

6/24 マリア・カタリナ 笹川 マル子 (91歳)

2018年7月・8月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月		8(日)初聖体/子どものミサ 教会学校パーティ 8(日)第2回大規模修繕説明会 22(日)救急法講習会	1(日)11:00運営委員会 6(金)マリア会例会(懇談会) 8(日)教会周辺清掃・典礼委員会 8(日)ヨセフ会班長会 15(日)教会学校・中高生会終業式 21(土)10:30子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ	8(日)城東ブロック会議(平針) 15(日)障害者の集い
8月	15(水)聖母の被昇天	6(月)平和の祈り 9(木)平和の祈り 12(日)聖母被昇天祭(聖母行列) 26(日)避難訓練	17(金)～18(土)中高生会キャンプ 12(日)教会周辺清掃 17(金)～19(日)教会学校キャンプ 25(土)要約筆記付きミサ	6(月)～8(水)侍者会(神言神学院) 4(土)～6(月)教区中高生会広島巡礼 0～0信徒協広島平和巡礼 6(月)平和祈願ミサ 6(月)～15(水)平和旬間